



市民のひろば

掲示板

◆モラロジー 生涯学習セミナー

【日時】7月8日(火) 9日(水) 19時~21時 18時30分受付開始
【場所】J A土佐香美土佐山田支所3階ホール
【演題】心新たに生きる
【講師】近藤隆二・馬場照子(モラロジー研究所社会教育講師)

◆自由研究に使える考古学

小学生の自由研究や中高生の課題学習に、教育経験豊富な調査員が、とっておきのネタや研究法、まとめ方など、楽しく教えます。参加された方は、夏休み中サポートします。その他、夏の自由研究

編集後記

本格的な夏到来を前に、今月号にはいろいろ催しの情報が掲載されています。夏休みに親子で参加できる体験イベントもあり個人的にも興味津々。いい家族サービスになりそうです。香美市3大夏祭りには広報取材班として参加予定。いい写真が撮れるかな。(小松)



(山田高校マンガ部)

おたんじょうびおめでとう

今月満1~3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

※◎は土佐山田町、◎は香北町、◎は物部町です。申し込みは誕生月の前月1日まで。問 総務課 ☎53-3112

第51回 かみかみクイズ

今月の賞品 全問正解者の中から抽選で5名様に贈呈! 炭酸割りでゆずスカッシュ! 物部の濃縮ゆずドリンク1本

- A. 市内の●●ステーションは、自治会が管理しています。
B. 電力安定供給のため●●にご協力を。

解答は、今月号の誌面にあるよ。携帯からメールで応募しよう。

応募方法

ハガキまたはEメールで①クイズの解答②住所③氏名④電話番号⑤誌面の感想を記入の上、応募してください。応募は1人1通とさせていただきます。

■応募締切 7月31日(木) 必着
■あて先 〒782-8501 (住所記載不要) 香美市広報委員会事務局かみかみクイズ係
☑ kamikami@city.kami.lg.jp

第49回当選者 半田廣美さん・溝渕時子さん・一色淳さん (応募総数28通)
第50回の解答 A. 朴ノ木 B. 物部

香美史 探訪記

第60回 野中親孝異聞 (土佐山田町片地)

吉野城主(香北町)野中三郎左衛門親孝は、第56回でもお伝えしたとおり、戦国時代末期、長宗我部氏に仕えた菰生郷の侍大将としてその名を残している。親孝の父は野中肥後守貞吉といい、豊前国から来国して楠目城主の山田氏に仕え、菰生往還の要所を占める片地の陰山城主として間に住んだ。城跡の八幡宮が元禄年間(1700年頃)に子孫の野中氏によって再建され、野中家には系図が残されている。この系図によれば、貞吉は親孝に菰生郷800石を譲って間に来た後、永禄5年(1562)に山崎氏を槇山から呼んで住まわせている。地検帳によると、貞吉は林田大倉谷・佐古藪・陰野村で約2町歩を開拓したとある。親孝の三男である三郎左衛門親幸は、長宗我部氏から林田城(加茂)の詰(本丸のこと)を与えられ、野中孫七郎を林田城に、楠三を中屋敷に配して治めた。この城には二ノ堀・詰・三ノ堀・土居があったことが記録されている(現農林合同庁舎の位置)。

親孝の初陣は、永禄3年(1560)のことである。それから天正13年(1585)、長宗我部元親が秀吉に下るまで24年間の戦乱を生き抜いたが、その2年後、突喰で病気のため死亡した。親孝の次男市正頼綱は、天正7年(1578)讃岐藤目城で戦死。長男左近重治は、天正14年(1586)豊後戸次川で長宗我部信親に殉じた。親孝は四国各地を転戦していたが、留守中の菰生郷では奥方を中心に善政が布かれたという。亡くなった奥方はおびや神社に祀られ、遺徳が伝わっている。別の史料によると親孝は大坂夏の陣(1615)に敗れて、再仕官のため紀州へ向かう道で落馬により死去したとあるが、初陣の年から数えて、このとき親孝の年齢は70歳を越えることになる。70歳にしての再仕官は現実的にはないと考えられ、落馬して死去したのは三男親幸ではないか。朝鮮出陣・関ヶ原の戦い・大坂の陣には、親孝が出陣していたとも考えられるが的外れだろうか。



▲八幡宮(陰山城跡)



いづれにせよ現存する資料が少なく史料にも違いがあるため、歴史をひも解く者にとって大きな関心をひくのも事実である。(香美史談会)

皆さんこんにちは! 私の名前はアダム・ミッシェル・パンダーです。今回は、自分と私の母国について少しお話しします。私は3月31日にポーランドから日本へ来ました。私の古里はバルト海からおおよそ10キロ、北ポーランドにあるコシリンという都市です。私はいま、高知工科大学大学院博士後期課程で材料工学を研究しています。「なぜ地球を半周も飛んで日本に留学したの?」と、よく聞かれます。実は何年も前から、日本の技術、文化、音楽やアニメに興味があり、ポーランドで日本語の勉強を始めました。私は長く日本で暮らすつもりです。もしも「何でも起こり得るさ!」



「何でも起こり得るさ!」 将来のことは誰にもわからないでしょう? 読んでくれてありがとうございます! ございました! またすぐに会いましょう。

香美市の印象について話せるほど、私はまだ何も知りません。しかし私は、ポーランドについてなら話すことができます。ポーランドの人々は本当に優しいですから、新しい友だちをそこで作ることは簡単です。だからあなたも、身長が2メートルある白人を見たとしても、私と話をすることを恐れないでください。私は、自分自身、やさしくて穏やかだと思えます。私はまだ、最高に日本語が上手とは言えません。でも私はあなたにかみついたりしませんよ。そして、日本で新しい誰かに会うことはうれしいです。



No. 86

★おわびと訂正...第59回香美市探訪記の鏡川の説明で、元禄13年(1700)と記載していますが、正しくは、元禄年間(1698~1704)です。